



◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 52 号 2016/7/12 発行）

◆◆ <<http://www.iima.or.jp/>>



◇ 独立行政法人 日本貿易保険（NEXI）理事 小泉哲哉 コラム ◇

貿易保険のこと

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2016/20160712koizumi.pdf>>

ドーバー海峡に壁ができる。壁の高さはまだわからないが、人と物の自由な行き来を保障し、規制や銀行ライセンスを共通化した EU から英国が離脱するという、予測不可能…

※理事長 行天豊雄のコラムは、2016 年 6 月 29 日に臨時配信したため、本号ではお休みとさせていただきます。

■ ホームページ 「IIMA の目」

短編コラム「IIMA の目」を、ホームページ最上部にて毎週初更新掲載しています。是非ご覧ください。

<<http://www.iima.or.jp/research/column/index.html>>

1. 「ギリシャが残り、英国が出ていく意味」 森川央
2. 「EU からの離脱確定を望むイギリス世論」 森川央
3. 「英国「EU 離脱」の衝撃：英ポンド相場をどう見るか？」 武田紀久子
4. 「アジア債券市場育成イニシアチブ（ABMI）の動向アップデート」 秋山文子

■ IIMA Global Market Volatility Index・購買力平価グラフの更新

<<http://www.iima.or.jp/research/ppp/index.html>>

《掲載内容》

- IIMA Global Market Volatility Index
（グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数）
- 購買力平価グラフ
（ドル円）（ユーロドル）（ユーロ円）

1. 「トルコの金融経済情勢は安定するか？（2）」

当面は慎重な判断を要するが中東における優位性は維持」 中村明

http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2016/288_j.pdf

トルコは、中東地域において政治・経済の両面で際立った安定感を維持してきたが、過去2、3年の間にいずれの点についても不透明感が高まった。地政学リスクも上昇しており、こうした不安要因が短期間のうちに解決に向かう可能性は小さいため、当面の間は慎重な見方をせざるを得ない。

■ 今月の IIMA

IIMA では今月、情報・国際交流イベントが控えています。まず、例年通り、主要国金融機関チーフエコノミストの定例会議である ICCBE

(International Conference for Commercial Bank Economists、1937年発足) に佐久間が出席しました。当会議は世界経済の重要課題と最新見通しを確認する上で、毎年非常に有益な場となっています。

今月下旬には、JICA から運営を受託した公共財政管理・公的債務管理研修を2週間に亘って実施します。今回はアジア・アフリカの新興国20カ国から25名の研修員が参加します。講師は研修前半を世界銀行、後半を本邦財務省、金融機関、シンクタンクの専門家の方々が務めます。

3月のIIMAシンポジウムでは、国家間の関係発展のために国境を越えて人々が会い、話をすることの重要性が強調されました。こうしたイベントにおける一つ一つの出会いを大切にしたいと考えます。※上記シンポジウムにおける講演および質疑応答の内容を記したオナーショナルペーパーは、今月発行予定です。

【バックナンバー】

<http://www.iima.or.jp/maimazine.html>

【次号】

2016年8月9日配信予定

【メールマガジンの配信停止・配信先変更】

<https://m.entryform.jp/m/iima/>

【各種お問い合わせ】

admin@iima.or.jp

※閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから

→<http://get.adobe.com/jp/reader/>

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

◇発行◇

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2 三菱東京 UFJ 銀行日本橋別館 12 階

[HP] <http://www.iima.or.jp>

Copyright (C) IIMA All Rights Reserved.